



米工 MAKERS

米工通信 第76号
令和3年12月3日
鳥取県立米子工業高等学校
進路指導部 CA 奥 千絵



求人世界も温故知新で～その②～

前回に引き続き、去年度卒業生の「働く現場の声」をお届けします。“地元企業温故シリーズ”第二弾として、ミネベアミツミ、ゴール米子工場、ウメカワ、ミヨシ産業、ティー・エム・エスで活躍している先輩達の声を紹介いたします。いずれも毎年のように求人を出して頂き、米工OBが何人も活躍している会社です。

※企業と卒業生には掲載許可を頂いています。



- ① ミネベアミツミ(株)米子工場 (自動車、家電、パソコン、ゲーム等に組み込まれる精密小型モーターの開発、製造)



米子施設課(左)、技術管理課開発実証科(右)に配属。
施設課は電気科で習った知識を活かせる現場。「様々な仕事に従事しています。電気工事、製造ラインの配管のエア漏れチェック、水道関係の修繕、その他、シャッターやエアコンのメンテナンス依頼が来ます。覚えることが多く電気系は難しいけれど、先輩方に教えて頂きながら4人でチームとなって頑張っています。一緒に作業している先輩がマンツーマンでたくさんアドバイスを下さるので安心してます。」
技術管理課開発実証科は、主に計測業務に従事。(モーター部品の寸法を測定し、真円度を図るコンピューターを運動させて丸い形状の精度を高める)計測する際に、機械科で使っていた工具(ノギス等)を使ったりすることもあります。先輩方がやさしく教えて下さり人間関係は良好です!」



- ② (株)ゴール米子工場



岡田工場長(左)と一緒に

- ③ (株)ウメカワ



- ④ (株)ミヨシ産業



「ドアロック(錠前)を作る会社です。組立課(電気チーム)に配属となり、ドアロックのケースを組み立てています。また、機械のレイアウトを変更するときに配線を手伝い、その時に電気科で習った電気回路の知識が役に立ちました。コロナ禍のタイミングで入社し、実務に入るまでの時間があっという間に手厚い研修を受けることができました。フライスや旋盤などやったことがないことも体験させてもらい楽しかったし、視野が広がりました。慣れるまでじっくり育てて頂いていることにとても感謝しています。」



「油圧ポンプとモーター製造の会社です。モーターの電動部分とポンプの間のつなぎ部分(エンドキャップ)をMCで機械加工し平面研削しています。先輩の教え方が丁寧で、自分で失敗するという経験が大事だと教えてください。とにかく新入社員を大事にしてくれる会社です。」

- ⑤ (株)ティー・エム・エス

「本校から初の女子採用となりました。(写真右) 施設工事の現場で、道路舗装・クラック(ひび割れ)補修・床版(橋の補強)等を行っています。土木コースで習った測量(レベル・光波)の知識が役立っています。雨の日の現場は泥で大変だけど頑張っています。建築は(→写真左男子)木造公共施設の建築現場で測量・墨出し・現場写真撮影等の仕事をしています。建物ができる全工程を一から見られることがこの仕事の醍醐味です。」

↑「工事に配属。主に家周りの外壁や屋根の新築・改築工事に従事しています。断熱材の吹き付け工事の手伝いや時には屋根に上って古い瓦をはくなどの仕事もします。入社して嬉しかったことは、新入社員研修最終日にCADソフトを用いて自分が将来建てたい家の住宅設計をし、それを皆の前で発表したことです。」



新社会人





1973年(昭和48年)、ある信用金庫が倒産の危機に追い込まれました。その原因とは？

冗談が招いた危機！



就職が決まった3年生は、友達同士で就職先の話をするところもあるでしょう。この事件もそんなことが発端でした。ある信用金庫に就職が決まっていた同級生に対して、友だちが軽い気持ちで「信用金庫は(銀行強盗に襲われるから)危ないよ」と冗談を言ったのです。

友達の冗談を真に受けた生徒は、親戚のおじさんに具体的な名称は言わずに「信用金庫は危ないのか？」と尋ねたところ、おじさんは勝手に〇〇信用金庫のことだと思い、その信用金庫の近くに住む親戚に「信用金庫は危ないのか？」と問い合わせたそうです。そのたった一言の素朴な質問は人から人へと投げかけられ、その情報は「信用金庫は危ないのか？」⇒「〇〇信用金庫は危ないのか？」⇒「〇〇信用金庫は危ないらしい」⇒「〇〇信用金庫は危ない」と断定的な噂に変化して行きました。

そんな噂を知らない社長さんが仕事の支払いで「〇〇信用金庫から120万円おろせ」と電話でやりとりしていました。噂を聞いていた人がこのやりとりを“〇〇信用金庫が倒産するので預金をおろそうとしている”と勘違いし、自分も預金をおろしたそうです。そして知人に「〇〇信用金庫は危ない」と伝え、その噂はどんどん人々に広まりました。そして、ついに「〇〇信用金庫は潰れる」という断言になり、噂を信じた人たちは預金の払い戻しに殺到し大騒動になりました。友だちの冗談発言からたった一週間の出来事です。噂を知った信用金庫はデマを否定するものの、かえって人々は不安になり、



その後も「職員の使い込みが原因」、「5億円を職員が持ち逃げした」、「理事長が自殺」という二次的なデマが発生しました。

みなさんは大丈夫ですか？大事になるような冗談を言っていませんか？軽い気持ちで口にしたことがこんな大騒動になったという事実があったことを覚えておいてくださいね。

ところで、短い文を伝えていく伝言ゲームをしたことはありませんか？やってみると最初の人と最後の人が把握している内容が大きく違うことがあります。ポイントとなる情報を漏らしたり、自分の関心のあるところだけを伝えたり、憶測の情報を付け足したりと、伝わるごとに情報は加工され、人の話はあてにならないことを感じます。特に噂話は伝わるごとにエスカレートする傾向があります。

この事件を活かすならば、“人から聞いた話は事実を確認してから人に伝える”ということです。ホームページやSNSで知った情報も真実かどうか分かりません。複数の情報源や信憑性のある情報源を確認しながら判断してください。よく、SNSで間違った情報が広まるのもこの事件と同じことです。広めている人たちは、正義感で「この情報を早く多くの人に知らせてあげないと」と思っている行動でしょうが、結果としては逆にみなさんを混乱させてしまっているのです。情報を簡単に広く発信できる世の中だからこそ、自分が発信する情報、言葉には大きな責任があるのです。



求人世界も温故知新で～その③～

“卒業生の働く現場の声”シリーズ最終回は、「故きを温ね（ふるきをたずね）、新しきを知る」、「地元企業知新編」です。この3年間で、県内外企業共に電気・情報電子系の新しい求人が増えつつあります。これまでは新卒採用は大卒のみだった企業も米工生に目を向けて下さっています。特にこのコロナ禍において、タブレットのレンタル普及率や各企業のリモート化推進が進み、IT系業界が人材不足にならないよう若手育成に力をいれています。今回紹介するNECフィールディング・松和建設は、本校から初の採用となりました(*V) リコージャパンは今年を含め3年連続で採用、中電工はこれまで本校生徒を多く採用して頂いてますが、グループ会社の中電工テクノは今年を含め2年連続の採用です。これらは先輩達が切り開いた新しい求人の道です。彼らの活躍が後に続く後輩たちの道しるべとなるのです！ ※企業と卒業生には掲載許可を頂いています。

① NECフィールディング(株)



② リコージャパン (株)



↑「現在、医療機関や行政機関等をまわりカスタマーエンジニアとして修行中です。先輩に同行してPCの分解組立、プリンターの定期交換の仕方等を習っています。また、ガソリンスタンドの給油装置にあるタッチパネルのメンテナンスに従事することもあります。メンテナンス中にわからないことがあると、コールセンターへ連絡しテクニカルサポート（作業指示、技術支援）を受けることができるので安心して業務に集中できます。PCのセットアップの際にW科で習ったプログラミングの知識が役立ちました。この他、授業で学んだ2進数がベースとなっているのできちんと勉強しておいて良かったです。この業界へ就職するならば、基本情報技術者とITパスポートは在学中にとっておいたほうが有利です。

↑「6月から郵便局、銀行、中小企業から大企業まで、先輩に同行してPCやプリンターの定期点検、保守メンテナンスをしています。まだ一人で修理はできませんが、作業後お客様に電子レポートを差し上げ説明したり、見積もりが必要となれば営業と連絡をとり手配したりしています。この仕事はお客様のニーズに柔軟に対応できるような人に向くと思います。4、5月の新入社員研修（オンライン研修）では、社会人のマナーや電話応対を学びました。また、大卒の方と合同でグループディスカッション等をして大変刺激になりました。

③ (株)中電工テクノ



←「電柱の建て替えや変圧器のつけ替え等に従事しています。配電線工事は5人のチームです。高圧線の張り替えもですが、電線を切ったり結線をする時は感電予防対策を徹底して作業を行っています。先輩方がしっかり教えて下さるので充実していて楽しいです。一生懸命仕事をしていると時間がたつのが本当に早く感じます。また、お客様のご家庭に送電する際、「今から電気送ります。電気つきましたか？」等、確認のやりとりがあり、作業後にお客様から「ありがとうね」と言って頂けるとすごく嬉しいです。夏場の暑さ、冬場の寒さの中での作業は大変な時もありますが、電気をお届けするという、人々の生活に必要なライフラインを守る仕事なのでとてもやりがいを感じています。

④ (株)松和建設



←「リフォームアドバイザーとしてお客様のニーズをお伺い、キッチン・バストイレ等の水回りのご提案をする担当をしています。見積もりを出し、大きな工事の場合は図面を描いてお客様に説明をします。お客様によって、金額・家事動線・機能・デザイン等、重視されるニーズが様々なので、それにお答えするためには柔軟性がある人に向くと思います。現在、2級建築士の資格取得を目指し、日建学院に週2回通って勉強させて頂いています。職場の人間関係がとても良く、女性が動きやすい環境です。(SDGsのジェンダー平等の取り組みを積極的に推進しています!)



「性に関する指導」LHR



第3学年 講演会「心の笑顔」(泉龍寺・住職 三島 道秀さん)

10月27日(水)に第1学年及び第3学年、11月17日(水)に第2学年を対象に「性に関する指導」LHRを実施しました。生徒は自分の将来について、しっかり考えている様子でした。

第1学年 デートDV学習会
(保健福祉局)



第2学年 講演会「いのちとからだの話」
(ミオファティリティクリニック葉山 美紀子さん)



世界エイズデー～レッドリボン30周年～



突然ですが、皆さんは世界エイズデーは何月何日かご存じですか？

(ヒントはこの学校通信内にあります)



僕達が心を込めて
リボンを作りました♪

保健委員を中心に、世界エイズデーキャンペーンとして①HIV/エイズへの理解を示すレッドリボンの作成②HIV感染者の

子どもが描いた絵本の読み聞かせを実施しました。また、保健委員が作成したレッドリボンを12月1日(水)世界

エイズデーに全校生徒に配布し、短時間ではありますがHIV/エイズに関する知識普及活動を行いました。約40年前に世界中で波紋を呼んだHIV/エイズですが、日本でも毎年約1000人の感染者が発生しており、再び問題視されています。当時のことを思い出し、ご家庭でお子様とエイズについて話し合う機会にされてみてはいかがでしょうか。





各地の工業高校生が、お互いの技術を全国工業高等学校長協会主催「高校生ものづくりコンテスト」に参加して競い合っています。本校でも12月24日に電子回路組立部門の会場として県大会が開催されます。

失敗することで成長する

鳥取県は全国大会へ何度も出場している実力のある県です。米工は電気工事部門で準優勝、電子回路組立部門では3位に2度入賞しています。全国大会へは中国大会で優勝した生徒だけが参加できます。そのため、大会では緊張のあまり普段では考えられないミスをしてしまうことがあります。このミスをいかに少なくするかが勝負のポイントです。

日頃からミスをしないように様々な取組をしても、ミスを確実に防ぐことは難しいことです。ミスは必ず生じる可能性があるものと考えておくのが良いでしょう。

私は以前、別の学校で電子回路組立部門に参加する生徒を指導していました。ある生徒が県大会で、完成したうれしさに作業台の清掃をすっかり忘れてしまいました。その減点で審査結果は第3位、中国大会への出場権は米工に奪われました。彼はそれ以後、作業後の片付けを欠かしたことはありません。そして翌年の大会では県大会、中国大会と優勝し、全国大会へ参加することができました。



成功したときやうまくいった時にはその理由を特定することが難しいため、成功は学びにはなりにくいです。しかし、失敗した理由は分かりやすいので、改善ポイントが明確になり、学びの機会となるのです。私たちは失敗することで成長することができます。誰もが失敗したくはありません。失敗を受け入れることは勇気のいることです。だからこそ、失敗を財産として受け入れられる心を持つことが必要なのです。

授業を参観すると、間違っただけを消して正しい解答を書き直している人を見かけます。これでは自分がどのように間違えたのかを後で振り返ることができません。失敗を活かすなら、間違っただけを残しておき、自分の間違いやすいポイントを知り、同じ間違いを防ぐための財産とすることが大切です。

みなさんは今年、どんな失敗をしましたか？何もしなければ失敗することはありませんが、成長もありません。失敗を財産として受けとめ、来年は失敗を活かして成功を手に入れてください。

ものづくりコンテストに参加する選手のみなさんには、練習での失敗を活かし、大会ではパーフェクトに課題を達成する活躍を期待しています。